

留 学 報 告 書

記入日:2020年1月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部機械工学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ノースイースタン大学 現地言語: Northeastern University
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	工学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月17日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月上旬～4月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約2万人
創立年	1898年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため授業料はなし
宿舍費	5135	569985円	
食費	1500	166500円	主に自炊
図書費	125	13875円	教科書レンタル代
学用品費	50	5550円	ノート・関数電卓
携帯・インターネット費	126	14000円	SIMカード
現地交通費	140	15540円	電車・タクシー代(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	255	28305円	博物館、映画、コメディショー代
被服費	120	13320円	ジャケット、手袋、運動着等
医療費	0	0円	
保険費	313	34710円	形態:東京海上日動
渡航旅費	901	100000円	
ビザ申請費	0	0円	アメリカのパスポートも所持しているため
雑費	200	22200円	毛布、タオル、生活用品
その他	250	27750円	国内旅行代
その他		円	
合計	9115	101万円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田空港 目的地:ローガン国際空港 経由地:ダラス・フォートワース空港
 復路 出発地:ローガン国際空港 目的地:成田空港 経由地:シカゴ・オヘア空港

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:アメリカン航空

料金:10万円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: _____ 料金: _____

復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____

航空券購入方法

旅行代理店(店名: _____) インターネット(サイト名:トリップドットコム) その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:780 Columbus Ave) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数二人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の斡旋

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学の寮だったため、キャンパスに行くのに時間がかからず、授業に行くのもとても楽でした。地下室だったため暖房を使えなかった最初の1か月は寒かったですが、途中から冷暖房の制限が緩くなり、とても快適でした。幸運なことに自分はキッチン付きの寮に入ることが出来ましたが、キッチン無しの寮に入った学生は高額な学食を買わされるので、場合によってはキャンパス近くの大学のものではない寮に住んだ方が安く済む可能性もあります。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なし
 あり(治療を受けた場所:キャンパス内の診療所)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なし
 あり(問題の内容や相談した人等: _____)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

危険な地域を現地の学生に教えてもらったり、インターネットで調べるなどして、そのようなエリアに近づかないように気を付けました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパスと寮のWi-Fiが安定していたため、インターネットが繋がらなくて困ることはありませんでした。また、月額制のSIMカードを使用していたため、Wi-Fiが無いところでも不自由なくインターネットを利用できました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

現地のものだとラベルをしっかりと読めない、または単に体質に合わないなどのケースもありますので、薬、サプリや肌に塗るようなものは普段から使い慣れているものを日本から持っていくことをお勧めします。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 学部によっては受けられない授業がありました。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Astronomy	天文学
科目設置学部・研究科	Department of Physics
履修期間	秋学期
単位数	4単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 65 分が 3 回
担当教授	Daniel Hudon
授業内容	天文学の基礎的な内容。授業はパワーポイントをもとに進められ、途中で教授からの質問に学生が自由に答える、もしくは複数人で話し合うスタイル。週に1, 2回は小クイズとグループで行うワークシートが出る。
試験・課題など	中間試験2つと期末試験(全範囲)がある。どの試験も選択問題、説明問題と計算問題により構成される。2週間に1度ほどの頻度で大問10問程度の課題が出る。
感想を自由記入	基礎的な内容が多いものの、学ぶ範囲が「月の満ち欠け」から「ビッグバン」や「ダークマター」と非常に広いため後半はだんだんと大変になりました。この授業は画像、動画や簡単なシミュレーションを多く使っていて、ただ単に板書を写すだけの授業に比べて非常に楽しく、授業内容も頭に入りやすかったです。学生数が15人という小規模な授業だったので発言も話し合いも比較的しやすいです。理系の授業にしては数式も少なく、そもそも理論式などを覚える必要もないため理系の生徒でなくても宇宙に何となく興味があれば十分受けられる授業だと思います(実際に文系だけを受けている学生も沢山いました)。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Mechanical Engineering Computation and Design	FEM 解析
科目設置学部・研究科	Department of Mechanical and Industrial Engineering
履修期間	秋学期
単位数	4単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回
担当教授	Hamid Nayeb-Hashemi
授業内容	有限要素法(FEM)の原理を学ぶ。最初はバネが伸ばされるシンプルなモデルから始まり、最終的には複雑な負荷のかかったモデル、熱移動を含むモデルや解析に用いられる計算手法なども扱う。授業は板書をもとに進められる。
試験・課題など	中間試験2つと期末試験がある(どの試験も大問 3 問)。毎週課題として計算問題が4つほど出され、手計算で答えを導いた後に ANSYS というシミュレーションソフトを利用して答えを確認する。
感想を自由記入	この授業は行列を使った計算問題が非常に多く、問題を1問解くのにもとても時間がかかります。そのためプログラミング機能の付いた関数電卓(グラフ描画機能も必要)を買うことになりました。毎週課題が4つほど出るのに対し、例題は2つほどしか出ないため、ANSYS で解くときは例題で全く触れていないような機能を使う必要があります。授業内での ANSYS の使い方の説明が不十分なため、自分は毎週のようにオフィスアワーに行きました。試験は時間に対して問題量が多すぎて途中式をしっかりと書くと終わりません。かといって途中式を少なくすると計算ミスをしたときに大きな減点をされます。このように、使用するソフトの説明が不十分で課題にかかる時間が非常に長く、テストの採点も厳しい授業ですので、よっぽどこの分野の授業を受けたい人以外は受けないことをお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Biomechanics	バイオメカニクス
科目設置学部・研究科	Department of Bioengineering
履修期間	秋学期
単位数	4単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Sandra Shefilbine
授業内容	前半はダイナミクスを扱い、途中からは材料力学を扱う。バイオメカニクスという名前の授業だがバイオ要素はだいぶ薄い。教授の板書をもとに進められる。途中で小クイズが出され、アプリを使って答えることもある(全生徒匿名で)。
試験・課題など	中間試験が1つ、期末試験と週に1度課題で扱った内容の簡単な小テストがある。毎週授業で扱った内容の問題が6問ほどだされ、2週間に1回ほどMATLABを用いた実験課題がある。
感想を自由記入	バイオメカニクスという名前の授業なので、バイオ要素があることを期待していたのですが、実際に受けて見ると機械力学と材料力学の授業を足し合わせただけだったので正直残念でした。しかし、教え方がとても丁寧なため機械力学と材料力学の良い復習になったと思います。また課題を通して今までちゃんと使ったことが無いMATLABでグラフを作る等の経験ができたため、最終的にはとてもためになる授業でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
気になる研究室のウェブサイト
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前,あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
具体的な進学先は未定です。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
卒業をしなければ進学も出来ないの、留学に向けての準備を始める前にまずは自分が卒業出来そうかどうかをしっかり確認しましょう。また、せっかく留学をするのであれば進学先を日本だけに限定せずに留学先の国の大学院で行っている研究内容も調べると良いと思います。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	留学説明会や留学カウンセリングに参加。
8月～9月	過去の留学報告書や大学のウェブサイトを参考に志望校をいくつか決める。
10月～12月	TOEFL 対策 TOEFL 受験 学内応募のための書類提出。 書類審査の結果発表 面接選考。 面接結果発表。
2019年 1月～3月	学内審査合格者オリエンテーション 留学先の出願用ポータルサイトのアカウント情報を入手。 ポータルサイトを通して各種出願手続きを進める。
4月～7月	予防接種開始。 帰国後に所属したい研究室をいくつか訪問し、各研究室について調査を行った。 所属したい研究室の希望順位を学科の先生に提出。 大学の寮に入ることが確定。 留学中に使用するクレジットカードの作成。 航空券の購入。
8月～9月	日本から持って行った方が安そうなもの(百均グッズ等)、日本での方が手に入れやすそうなもの(ポケットティッシュ等)を買い集める。 荷造り。 ボストンへ出発。 オリエンテーションで色々な留学生に会う。 留学生用の色々なイベントに参加(食事やクルーズ)。 学期初めのキャンパス内のイベントに参加(油絵や無料の食事)。 授業開始。 サークルをいくつか見学。
10月～12月	中間試験。 映画やコメディショーの鑑賞。 他大学のキャンパス見学。 二度目の中間試験。 感謝祭期間に友達とニューヨークへ小旅行。 期末試験。 ボストン散策。帰国。
2020年 1月～3月	留学報告書の作成・提出
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記(任意)

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

